

都道府県名

宮 城 県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	白石市立東中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	0	12	24
生徒数	141	139	148	0	428	

研究の概要

## 1 研究主題

確かな学力を身に付けた生徒の育成  
 - 学力を身に付けるための土台づくりを取り入れた  
 きめ細かな指導の工夫を通して -

## 2 研究内容と方法

## (1) 実施学年・教科

全学年・5教科（国語・社会・数学・理科・英語）

平成15年度について少人数指導・TT指導を次の教科で行った。

- 1, 2, 3年生・数学  
生徒の理解度に差が出やすいことと、指導する機会を増やすため
- 3年生・英語  
生徒の理解度に差が出やすい学年であることと、コミュニケーション活動を充実させるため
- 1, 2年生・理科  
器具などの操作を確実に身に付けさせたいことと、生徒の考えを引き出す機会を多くしたため

## (2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 「確かな学力を身に付けた生徒の育成」</p> <p>仮 説 生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を工夫すれば確かな学力を身に付けた生徒を育成できるだろう</p> <p>研究内容・方法 効果的な少人数指導等の在り方を実践的に探る。</p> <p>ア 少人数指導について        (ア) クラス分けの工夫        (イ) 指導計画の見直し        (ウ) 指導法の工夫        (エ) 自己評価相互評価等の見直し        (オ) 座席表の工夫</p> <p>イ 選択教科について        (ア) 生徒の実態に応じた選択教科の指導実践        効果的な少人数指導等を含めた指導体制の整備        で工夫し実践したことの評価を行う。</p>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 確かな学力を身に付けた生徒の育成        - 学力を身に付けるための土台づくりを取り入れた        きめ細かな指導の工夫を通して -</p> <p>研究の見通し 学習指導において、次のような手だてを講じて授業を展開すれば、目指す生徒像に迫ることができ、確かな学力を身に付けた生徒を育成できるだろう。</p>
--------	--

- 手だて1 学力を身に付けるための土台づくりを取り入れた授業の工夫
- 手だて2 生徒一人一人に対する適切な支援と学習形態の工夫
- 手だて3 学習を深めるための指導の工夫

研究の内容・方法

- (1) 学力を身に付けるための土台づくりの工夫
    - 望ましい学習習慣の形成
    - ア 学習課題の明確化
    - イ 学習の約束事の意識化
    - ウ 考える時間の確保
    - 教え合い，学び合い，高め合う人間関係づくり
    - ア 学び合う場の設定の工夫
    - イ 生徒一人一人の考えが生かされる場の設定の工夫
  - (2) きめ細かな指導の工夫
    - きめ細かな指導のための年間指導計画の作成
    - 各教科の基礎・基本の確認
    - 習熟度別少人数指導・TT指導のあり方の工夫
    - ア コース編製の工夫
    - イ 各コースの実態に合わせた指導法の工夫
    - ウ 評価の工夫
    - 生徒一人一人に応じた指導法の工夫
    - ア 基礎・基本の定着のための指導法の工夫
    - イ 発展的な学習への支援の工夫
  - (3) 実践の評価
    - 生徒，保護者，教師の意識調査（アンケート）からの評価
    - ア 生徒...学期1回
    - イ 保護者...参観日 記述式アンケート
    - ウ 教師...記述式アンケート
    - 各種テストからの評価
    - ア 標準学力検査（数学のみ実施）年1回
    - イ 定期考査
    - ウ 単元テスト，小テスト
    - 生徒の作品，レポート等からの変容の評価（随時）
- 確かな学力を身に付けさせるための土台づくりをきめ細かな指導の工夫とともに2本の柱として研究を行うようにした。

平成16年度

テーマ 確かな学力を身に付けた生徒の育成  
 - 学力を身に付けるための土台づくりを取り入れた  
 きめ細かな指導の工夫を通して -

研究の見通し

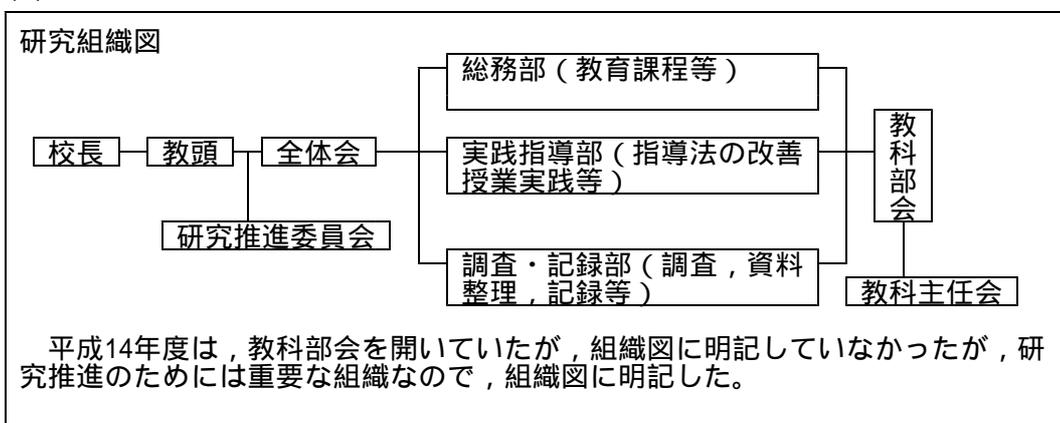
学力を身に付けた生徒を育成していくために平成15年度の研究成果と課題を十分に検討して研究を進めていく。  
 特に少人数指導では，より効果的なコース分けなどについて研究を深めていく。

研究の内容・方法

- (1) 学力を身に付けるための土台づくりの工夫
  - 望ましい学習習慣の形成
  - ア 学習課題の明確化
  - イ 学習の約束事の意識化
  - ウ 考える時間の確保
  - 教え合い，学び合い，高め合う人間関係づくり
  - ア 学び合う場の設定の工夫
  - イ 生徒一人一人の考えが生かされる場の設定の工夫
- (2) きめ細かな指導の工夫
  - きめ細かな指導のための年間指導計画の作成
  - 各教科の基礎・基本の確認
  - 習熟度別少人数指導・TT指導のあり方の工夫
  - ア コース編製の工夫
  - イ 各コースの実態に合わせた指導法の工夫
  - ウ 評価の工夫

- 生徒一人一人に応じた指導法の工夫
- ア 基礎・基本の定着のための指導法の工夫
- イ 発展的な学習への支援の工夫
- (3) 実践の評価
  - 生徒，保護者，教師の意識調査（アンケート）からの評価
  - ア 生徒...学期1回
  - イ 保護者...参観日 記述式アンケート
  - ウ 教師...記述式アンケート
  - 各種テストからの評価
  - ア 標準学力検査（数学のみ実施）年1回
  - イ 定期考査
  - ウ 単元テスト，小テスト
  - 生徒の作品，レポート等からの変容の評価（随時）
- (4) 公開研究会の実施
  - ・研究成果の普及と参加者からの評価を受ける場の設定

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1 研究成果

- 1 学力を身に付けるための土台づくりの工夫
  - (1) 予習の仕方や学習課題を明示することで，予習をしてくるようになった。  
(数学科発展コース・英語科発展コース)
  - (2) 十分に考えをまとめる時間を確保し，意見を交換することで，考えの深まりがみられた。
  - (3) 学び合う場を設定することで，個々の考えが活かされ，学習に対して意欲的に取り組むようになってきた。
- 2 きめ細かな指導の工夫
  - (1) 各教科とも，きめ細かな指導のための年間指導計画を作成し，その中に評価規準を明記した。
  - (2) 各教科の基礎・基本を確認し，共通理解を図った。
  - (3) 習熟度別少人数指導のコース編制で，ガイダンスを充実したことにより，編制の目的を生徒に理解させた上で行うことができた。
  - (4) 習熟度別少人数指導を行うことにより，生徒一人一人の考えやつまずきを把握しやすくなった。
  - (5) 繰り返し学習を行うことで，基礎・基本の定着が図られた。
- 3 実践の評価について
  - (1) 学期ごとに行う生徒の意識調査で学ぶ意欲についてみることができた。  
平成14年度から実践研究を行っている数学，英語の習熟度別少人数指導について次のような調査結果が出ている。
  - ・少人数学習をするようになって，授業の内容がわかるようになりましたか。

数学科	1年次	2年次	1年次	調査実施日	調査人数
わかるようになった	28%	28%	1年次	H14.12.17	135名
少しわかるようになった	49%	51%	2年次	H15.7.19	132名
変わらない	23%	21%			

英語科	2年次	3年次	2年次	調査実施日	調査人数
わかるようになった	39%	37%	2年次	H14.12.17	137名
少しわかるようになった	38%	48%	3年次	H15.7.19	143名
変わらない	23%	15%			

・少人数学習をするようになって、その教科の勉強に意欲は高まりましたか。

数学科	1年次	2年次	1年次	調査実施日	調査人数
高まった	8%	15%	1年次	H14.12.17	135名
少し高まった	55%	50%	2年次	H15.7.19	132名
変わらない	37%	35%			

英語科	2年次	3年次	2年次	調査実施日	調査人数
高まった	24%	27%	2年次	H14.12.17	137名
少し高まった	42%	52%	3年次	H15.7.19	143名
変わらない	34%	21%			

なお、平成14年度に調査したのもも習熟度別少人数指導実施後のものであり、14年度、15年度どちらの調査でも「わかるようになった」「少し分かるようになった」と答えた生徒が約8割いる。そして「意欲が高まった」「少し高まった」と答えた生徒が6～7割おり、特に英語科3年次には8割の生徒が、「意欲が高まった」「少し高まった」と答えている。平成14年度同様に、平成15年度でも、習熟度別少人数指導は、意欲面からも成果があると考えられる。

## 2 今後の課題

- 1 学力を身に付けるための土台づくりの工夫
  - (1) 望ましい学習習慣を定着させるための工夫
  - (2) 教え合い、学び合い、高め合う場の設定の工夫  
土台づくりについては、上に述べた事を工夫することと日頃の授業実践を積み重ねていくことで成果を更に上げることができると考えている。
- 2 きめ細かな指導の工夫
  - (1) 教師間の打ち合わせの内容の充実
  - (2) 習熟度別少人数指導でのコース分けの工夫
  - (3) 複数の教師による評価の工夫
  - (4) 自ら学び考える力を付けるための指導の工夫  
きめ細かな指導の工夫については、もっと弾力的に習熟度別少人数指導を取り入れ、学力向上により効果的な方法を探っていこうと考えている。  
また、年間指導計画も、更にきめ細かな指導が明確に表記できるように改善していきたいと考えている。
- 3 研究の実践の評価について
  - (1) 標準学力検査等の分析を授業に生かすための工夫をする。  
「学ぶ意欲」については調査により、把握することができた。さらに各種テストの分析を緻密に行い、生徒一人一人の学力の把握に努めていきたいと考えている。

## 学力把握のための学校としての取組

- ・生徒の意識調査  
(学ぶ意欲を把握するための少人数指導等のアンケート：学期1回)
- ・標準学力検査(数学のみ)(学力の定着を把握するため：年1回)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

中間発表会	(平成15年11月6日実施)	公開授業(国,数,社,理,英)
		全体会,分科会
		参加者数約250名
公開研究会	(平成16年度2学期開催予定)	公開授業,全体会,分科会
HPについて	(平成15年末開設)	
	<a href="http://www.area.city.shiroishi.miyagi.jp/higa-jh/">http://www.area.city.shiroishi.miyagi.jp/higa-jh/</a>	
フロンティアティーチャーとしての研究成果普及のための活動実績		
村田町立村田第一中学校校内研修会	(平成15年7月15日)	講師
	講演内容「昨年度の研究内容と今年度の計画について」	
福岡県糸島地区中学校校長会視察訪問	(平成15年11月21日)	
	研究実践についての説明	
東京都江戸川区立松江第五中学校管外視察訪問	(平成15年11月21日)	
	英語科習熟度別少人数指導の取組について説明	
平成15年度第2回一関地区学力向上フロンティアスクール研究推進会議	(平成15年12月5日)	講師
	実践発表「個に応じたきめ細かな指導の充実」	
岩手県水沢市立水沢中学校視察訪問	(平成16年1月6日)	
	研究実践についての説明	
高清水町立高清水中学校視察訪問	(平成16年2月20日)	
	研究実践についての説明	
群馬県伊勢佐木市立宮郷中学校視察訪問	(平成16年2月20日)	
	研究実践についての説明	
静岡県焼津市立大村中学校視察訪問	(平成16年2月20日)	
	研究実践についての説明	
東京都足立区立第六中学校視察訪問	(平成16年2月20日)	
	研究実践についての説明	

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校      /      14年度からの継続校
- 【学校規模】               3学級以下                       4～6学級  
                                   7～9学級                        /      10～12学級  
                                   13～15学級                       16学級以上
- 【指導体制】              少人数指導                      T・Tによる指導  
                                   その他
- 【研究教科】              国語                      社会                      数学                      理科  
                                  外国語                       音楽                       美術                       技術・家庭  
                                   保健体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】                      有       無